

## 公民館、自治会館などの世代交流型コミュニティ活用

### (背景)

地域イベント物品の物置場、使われることまれな会議室でしかないと言われていた今の公民館、自治会館、町内会館。一方で、昨年の東北大震災津波以来、絆や地域コミュニティの改めての創出の必要性が叫ばれている。加えて長く世代間交流の減少や子供への地域教育機能の喪失も課題視されている。そういった必要性や課題に対応するような、明確な目標を持ったそれら施設の活性化が求められている。

### (内容・効果)

公民館、自治会館、町内会館にまず図書室を設ける。会議室の壁に沿って棚を作って図書を配架し、真ん中には従来どおり会議机を置いておく。これだけで立派な図書室になる。もちろん図書は寄付あるは持ち寄りで貸し出し可能とする。これだけで地域の高齢者、子供たちが集まる。

庭側には屋根つきのテラスを設け、高齢者から子供たちへ昔の遊び具づくりの伝承の場としたり、朝取れ野菜の持ち寄り直売所としたりして多角活用を図る。さらに植木鉢を置いて緑のカーテン作りをはじめ、トマトやナス、キュウリなど野菜を育て実を収穫する高齢者の姿を子供たちが見られ、教えてもらえる場にする。地元関連企業の協力を得るなどして少なくとも自前の消費量はまかなえる風力発電や太陽光発電などをモデル設置する施設として環境やエネルギーを学ぶ場とできればなおいい。